

平成30年度 第1回北空知地域入退院支援研修会 9月28日 市立病院 ～療養が必要な住民を支援する支援者の力量アップのために～

入退院支援・調整ルールを説明する今田さん

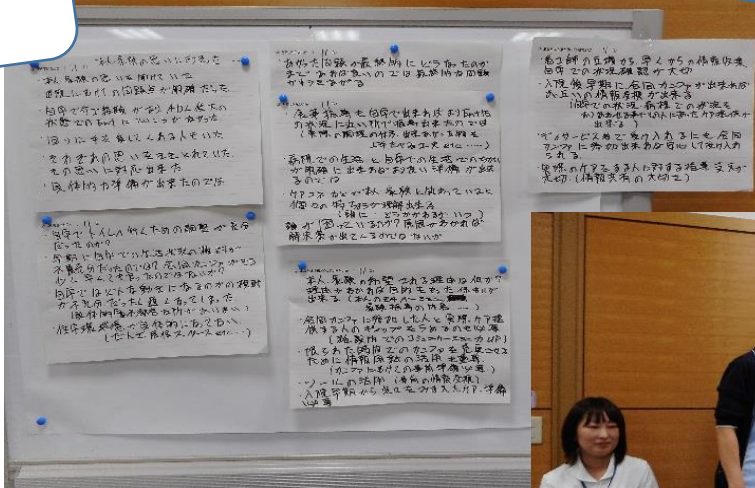


会場いっぱい！
1市4町から103名が参加



看護師、ケアマネ、薬剤師、保健師、リハ職、相談員、ヘルパーなど、多職種でグループ検討

事例「地域包括病棟から在宅へ～退院支援を振り返る～」
紹介者 安立さん、飯尾さん



2Gの発表
山口さん



勤務終了後に参集
20時まで熱気あふれる研修会でした

平成30年度 第2回北空知地域入退院支援研修会 11月30日 市立病院

- ・ 11月30日(金) 18:15~19:50 ・ 深川市立病院 2階会議室
- ・ 参加者 82名 (看護職34名、介護支援専門員28名、MSW・SW・相談員7名、リハビリ職1名、保健師8名、ヘルパー1名、事務職3名)
- ・ 研修目的 医療関係者と地域支援関係者が連携して入退院支援を進めていく関係を築く
- ・ 研修目標 ①北空知地域の支援関係者が本人や家庭の思いに添った入退院支援ができるようになる
②入退院支援をしていく上で、医療関係者と地域支援関係者がタイムリーな情報交換ができるようになる

事例紹介

「在宅環境に問題のある方の在宅復帰」

「ゴミで溢れている」「お風呂がない」
「ガスがない」「買物にいけない」
「家族の協力もない」

このような状況の方を
食事、衛生、健康、環境の面から
どのような支援をしますか

GWは各テーブル5人、
15グループで実施



グループ発表はインタビュー形式で
話し合いの1例を紹介、スタッフが
板書し共有しました。

事例紹介はケアマネ
の夏井さん



話し合った事を模
造紙に自由に記載

9G

- (1) タイムリーな情報共有について
・ 入院中に既に共有はできていたと思いが、退院して本人同意もとる事ができたかな... 外泊等で住居の整理
・ 本人家族の意向確認できていた
・ 本人の生活状況は、入院時点で把握できていたのは早い!!
- (2) 移行支援について
・ 本人家族の意向の妥当性の判断がむづかしい
・ 退院時点で「移行支援の目的がたっていない」
・ 家族(長男)の取り込みが必要
・ 再発の可能性と予防
・ 経済的問題
- (3) 必要な支援
・ 配食サービス 安否確認
・ 在宅復帰を目指すための施設利用
・ デイサービスでの入浴機会確保

多職種、様々な意見を聞いて勉強になった。
困難事例検討はとても勉強になった。

本人の在宅の代わりに、家? 自由?
・ 自由な生活を希望しているなら、自由を確保できる施設も提案できる。
・ 長男以外のキーパーソン(知人、友人)